

魅力溢れる御前崎を 市内外へ発信していく

港の元気は、御前崎市の元気

盤が一層充実し、地域振興に大きく寄与することを期待しております。

さらなる発展を目指し 挑戦し続けていく

市の第一次産業へ活力を注入するため、農業振興拠点施設整備事業は、引き続き進めてまいります。農作物の直売などを通して農家の生産活動が活発になり、農家が元気になることが、農業振興策の第一歩と考えております。整備する施設が、農業への関心を高め、大勢の人で賑わうことにより、人・自然・産業・地域が共生するまちづくりのシンボルとなることを信じております。

また、平成26年度の完成を目指す御前崎灯台周辺整備事業は、計画地内へ「渚の交番」事業の中核となる建物の設置を予定しております。「渚の交番」は、水難事故防止や海岸周辺の防犯のほか、マリンスポーツの振興など海辺の総合窓口の役割を担うもので、サーフィンなどを楽しむ若者たちが多く訪れる御前崎ロングビーチとマリナーパーク御前崎の中間に設置することにより、海辺の安全確保の拠点として機能するとともに、観光振興の足掛かりとして大いに期待されるものがございます。

国の重点港湾として将来が期待されております御前崎港は、企業が海外へ進出する中で、取り扱いコンテナ数が大きく落ち込んでおります。今後は、御前崎港を従来の輸出港から輸入港へと転換することで活路を見いだしていくことも考えていかなければなりません。港の活力アップが地域発展の核でもありますので、引き続き県西部を中心に、県内、中部県域と徐々にエリアを広げながらポートセールス活動を進め、地域経済の発展を目指した振興活動を展開していくとともに、わが国有数の産業集積を誇る県中西部地域における物流拠点としての活用を図ってまいります。

本年は、御前崎市が誕生して10年目を迎えます。本市のさらなる発展のため、創意工夫を凝らし、市内外に本市の魅力を発信するとともに、施策の実現に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

昨年を象徴する漢字は「金」でありましたが、本年は、市民一人一人が平等に豊かさを感じることができるようになるよう「豊」という字を目指したいものです。

本年は「巳年」です。蛇が脱皮する姿は、これまでの古い考えから抜け出し一段と進歩することに例えられ、その力強い生命力から復活と再生の象徴ともいわれております。私たちも従来の殻を打ち破り、常に新しいことへ挑戦する意欲を持ち続けることが大切です。

迎えた平成25年が皆さまにとって、さらなる発展の年となりますようお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

